



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 日野原 和夫
問合せ先責任者（役職名） 経理グループ長（氏名） 辻 雄太 (TEL) 045-471-0808
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,784	△2.5	770	7.3	1,595	27.5	1,069	△11.7
2025年3月期中間期	5,933	△1.7	717	△25.0	1,251	△46.5	1,210	△17.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,054百万円（45.8%） 2025年3月期中間期 723百万円（△75.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	68.99	—
2025年3月期中間期	78.13	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	75,699	55,737	73.6
2025年3月期	72,028	55,148	76.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 55,737百万円 2025年3月期 55,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	11,756	△1.1	1,285	△5.6	2,747	3.8	2,433	2.1

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	16,579,060株	2025年3月期	16,579,060株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,081,540株	2025年3月期	1,081,540株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	15,497,520株	2025年3月期中間期	15,497,520株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。」とされており、先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要であります。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

(寝具・リビング用品事業)

当中間連結会計期間の状況といたしましては、前年同中間期と比べ減収・増益となりました。減収の主な要因は、主力のダイレクトセールス部門の販売員数の減少によるものであります。増益の主な要因は、広告宣伝費の抑制や、レンタル事業をはじめとするダイレクトセールス以外の事業が堅調に推移したことによるものであります。

(不動産賃貸事業)

当中間連結会計期間の状況といたしましては、前年同中間期と比べ増収・増益となりました。これは、主要物件の賃料収入が堅調に推移したことに加え、前年同中間期に不動産取得税の納付があったことが主な要因であります。

以上の結果、売上高は5,784,093千円と前年同中間期と比べ149,091千円(2.5%)の減収となりました。営業利益は770,540千円と前年同中間期と比べ52,636千円(7.3%)の増益となりました。経常利益は上記の営業利益の増加に加え、前年同中間期に計上した為替差損264,629千円が、当中間連結会計期間には為替差益130,627千円に転じたこと等により、1,595,332千円と前年同中間期と比べ343,950千円(27.5%)の増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、上記の経常利益の増加があった一方で、前年同中間期に投資有価証券償還益を845,124千円計上したこと等により、1,069,223千円と前年同中間期と比べ141,550千円(11.7%)の減益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は5,204,352千円と前年同中間期と比べ158,421千円(3.0%)の減収、セグメント利益(営業利益)は704,836千円と前年同中間期と比べ17,775千円(2.6%)の増益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は579,741千円と前年同中間期と比べ9,329千円(1.6%)の増収、セグメント利益(営業利益)は331,467千円と前年同中間期と比べ21,886千円(7.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,671,022千円増加し、75,699,751千円となりました。これは主に、金融機関からの借入金が3,500,000千円増加したこと等により現金及び預金が3,017,499千円増加したことや、投資有価証券の売却に伴い証券会社への預け金が増加したこと等によりその他流動資産が1,935,560千円増加したためであります。一方で、上記の売却等により投資有価証券が1,175,134千円減少しております。

負債は、前連結会計年度末と比較して3,081,316千円増加し、19,961,917千円となりました。これは主に、上記の借入金の増加によるものであります。一方で、納税等により未払法人税等が501,769千円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して589,705千円増加し、55,737,833千円となりました。これは主に、配当金の支払い額を上回る親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことにより利益剰余金が604,298千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ650,271千円増加し、18,525,347千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローとその主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は559,530千円（前中間連結会計期間は1,535,166千円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益1,658,395千円や、減価償却費256,385千円によるものであります。一方で、法人税等の支払額1,089,964千円等がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2,935,231千円（前中間連結会計期間は459,866千円の獲得）となりました。

これは主に、定期預金の純増額4,242,160千円や投資有価証券の取得による支出1,717,125千円によるものであります。一方で、投資有価証券の売却及び償還による収入3,148,363千円等がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は3,035,074千円（前中間連結会計期間は464,925千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入7,000,000千円によるものであります。一方で長期借入金の返済による支出3,500,000千円や、配当金の支払額464,925千円がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年11月13日）公表の「第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,143,495	28,160,995
受取手形、売掛金及び契約資産	2,293,639	2,331,641
有価証券	145,233	146,238
棚卸資産	1,648,259	1,656,363
その他	327,871	2,263,431
貸倒引当金	△51,234	△51,230
流動資産合計	29,507,263	34,507,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,993,099	17,981,578
減価償却累計額	△12,442,066	△12,584,104
建物及び構築物(純額)	5,551,032	5,397,473
機械装置及び運搬具	2,071,334	2,095,502
減価償却累計額	△1,864,801	△1,891,305
機械装置及び運搬具(純額)	206,533	204,197
工具、器具及び備品	649,425	673,062
減価償却累計額	△447,043	△455,552
工具、器具及び備品(純額)	202,382	217,510
土地	12,423,109	12,423,109
建設仮勘定	56,415	35,443
有形固定資産合計	18,439,472	18,277,734
無形固定資産	15,587	16,942
投資その他の資産		
投資有価証券	23,727,326	22,552,192
繰延税金資産	194,052	194,715
その他	181,200	174,494
貸倒引当金	△36,174	△23,767
投資その他の資産合計	24,066,404	22,897,633
固定資産合計	42,521,465	41,192,311
資産合計	72,028,728	75,699,751

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	258,784	311,526
1年内返済予定の長期借入金	7,900,000	5,400,000
未払金	467,726	454,122
未払法人税等	983,516	481,747
賞与引当金	149,318	155,640
割賦利益繰延	287,008	282,721
その他	686,949	729,425
流動負債合計	10,733,303	7,815,185
固定負債		
長期借入金	4,350,000	10,350,000
役員退職慰労引当金	17,682	17,682
退職給付に係る負債	293,338	287,935
長期預り保証金	1,213,940	1,214,858
繰延税金負債	135,783	139,704
その他	136,553	136,553
固定負債合計	6,147,297	12,146,732
負債合計	16,880,601	19,961,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	54,781,033	55,385,331
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	54,092,889	54,697,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	432,541	440,253
繰延ヘッジ損益	△169	145
為替換算調整勘定	622,865	600,246
その他の包括利益累計額合計	1,055,237	1,040,645
純資産合計	55,148,127	55,737,833
負債純資産合計	72,028,728	75,699,751

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	5,933,185	5,784,093
売上原価	1,808,124	1,788,043
売上総利益	4,125,061	3,996,050
販売費及び一般管理費	3,407,157	3,225,509
営業利益	717,903	770,540
営業外収益		
受取利息	598,112	552,482
受取配当金	173,573	115,880
受取手数料	33,290	34,925
為替差益	—	130,627
その他	12,670	20,378
営業外収益合計	817,646	854,293
営業外費用		
支払利息	17,502	28,234
為替差損	264,629	—
その他	2,035	1,266
営業外費用合計	284,168	29,501
経常利益	1,251,381	1,595,332
特別利益		
固定資産売却益	39	636
投資有価証券売却益	—	312,282
投資有価証券償還益	845,124	—
特別利益合計	845,164	312,918
特別損失		
子会社清算損	—	28,772
固定資産除却損	1,221	3,458
投資有価証券売却損	—	217,624
特別損失合計	1,221	249,855
税金等調整前中間純利益	2,095,324	1,658,395
法人税等	884,551	589,171
中間純利益	1,210,773	1,069,223
親会社株主に帰属する中間純利益	1,210,773	1,069,223

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,210,773	1,069,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△955,139	7,711
繰延ヘッジ損益	△515	314
為替換算調整勘定	468,250	△22,618
その他の包括利益合計	△487,404	△14,592
中間包括利益	723,369	1,054,631
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	723,369	1,054,631
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,095,324	1,658,395
減価償却費	271,032	256,385
固定資産除却損	1,221	3,458
固定資産売却損益(△は益)	△39	△636
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△94,657
投資有価証券償還損益(△は益)	△845,124	—
子会社清算損益(△は益)	—	28,772
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△649	△11,603
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,671	6,322
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,781	△5,403
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	△37,020	△4,286
受取利息及び受取配当金	△771,685	△668,362
支払利息	17,502	28,234
為替差損益(△は益)	276,498	△139,797
売上債権の増減額(△は増加)	△60,718	△38,020
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,024	△10,883
仕入債務の増減額(△は減少)	168,336	53,906
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,558	△107,569
その他	△71,362	46,880
小計	1,014,302	1,001,136
利息及び配当金の受取額	718,391	676,593
利息の支払額	△17,502	△28,234
法人税等の支払額	△180,024	△1,089,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,535,166	559,530

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	5,486,656	△4,242,160
有形固定資産の取得による支出	△93,364	△114,208
有形固定資産の売却による収入	39	636
無形固定資産の取得による支出	△1,600	△2,279
投資有価証券の取得による支出	△12,034,712	△1,717,125
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,125,560	3,148,363
短期貸付金の純増減額(△は増加)	185	1,504
その他	△22,898	△9,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	459,866	△2,935,231
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,950,000	7,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,950,000	△3,500,000
配当金の支払額	△464,925	△464,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,925	3,035,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	375,967	△9,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,906,074	650,271
現金及び現金同等物の期首残高	20,187,740	17,875,076
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,093,815	18,525,347

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,255,319	4,709	5,260,028	—	5,260,028
その他の収益(注) 3	107,453	565,702	673,156	—	673,156
外部顧客への売上高	5,362,773	570,411	5,933,185	—	5,933,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	115,724	115,724	△115,724	—
計	5,362,773	686,136	6,048,909	△115,724	5,933,185
セグメント利益	687,061	309,580	996,641	△278,738	717,903

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△115,724千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△278,738千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,117,380	4,686	5,122,066	—	5,122,066
その他の収益(注) 3	86,971	575,054	662,026	—	662,026
外部顧客への売上高	5,204,352	579,741	5,784,093	—	5,784,093
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114,515	114,515	△114,515	—
計	5,204,352	694,257	5,898,609	△114,515	5,784,093
セグメント利益	704,836	331,467	1,036,303	△265,763	770,540

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△114,515千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△265,763千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。